

2020年度 (2021年3月期) 第2四半期 決算説明会

2020年 10月 29日
セイコーエプソン株式会社

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新製品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。

なお、業績等に影響を与える要素は、これらに限定されるものではありません。

■ 事業利益について

事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

連結包括利益計算書上に定義されていない指標であるものの、日本基準の営業利益とほぼ同じ概念であることから、連結財務諸表の利用者がエプソンの業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しております。

■ 本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て 比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

年号：断りが無い限り、会計年度を示す

- ご説明のポイント
- 第2期四半期実績
- 2020年度通期業績予想
- 株主還元
- ESGトピックス

第2四半期 実績

- 売上収益：2,459億円 （対前年同期 205億円減収）
 - COVID-19影響により、前年同期からは減収となるものの、第1四半期からは、販売回復
 - 主要事業・商品で予想以上に需要回復
- 事業利益： 102億円 （対前年同期 43億円減益）
 - 減収影響を受ける中、引き続き費用抑制を継続
 - 予想を上回る販売に加え、商品ミックス変動・価格維持、一層の費用抑制を実施

通期業績 予想

- 売上収益：9,600億円
（対前期 836億円減収 対前回予想300億円上方修正）
 - 売上収益は、第2四半期での想定以上の販売回復を反映
 - 下期は、引き続き不透明な要因多く、前年同期並みを見込む
- 事業利益： 350億円
（対前期 58億円減益 対前回予想150億円上方修正）

株主還元

- 配当予想：1株当たり62円
（2019年度と同額予想に変更なし）

- ご説明のポイント
- **第2期四半期実績**
- 2020年度通期業績予想
- 株主還元
- ESGトピックス

2020年度 第2四半期決算 | ハイライト

	2019年度		2020年度		対前年同期		
	(億円)	Q2実績	%	Q2実績	%	増減額	増減率
売上収益		2,664		2,459		-205	-7.7%
事業利益		146	5.5%	102	4.2%	-43	-29.7%
営業利益		159	6.0%	72	2.9%	-86	-54.5%
税引前利益		162	6.1%	58	2.4%	-104	-64.2%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益		120	4.5%	44	1.8%	-75	-62.7%
EPS ^{*1} (円)		34.63		12.95			
為替レート (円、指数)	USD	¥107.31		¥106.16			
	EUR	¥119.34		¥124.10			
	その他通貨 ^{*2}	100		93			

*1 EPS: 基本的1株当たり当期利益

*2 その他通貨の各レートを為替ボリュームに応じて加重平均した値について、前年同期を100とした指数

	前年同期に対する 為替影響額 (億円)				合計
	USD	EUR	その他 通貨合計		
売上収益	-8	+15	-31	-24	
事業利益	+0	+9	-23	-12	

■ 対前年同期

● 売上収益

- COVID-19影響が残るものの、第1四半期からは販売回復
 - ✓ 供給不足の中、商品モデルミックスの改善進展・価格維持

● 事業利益

- 減収影響や在庫減少に伴う利益押し下げ影響を受ける中、引き続き費用抑制を継続

■ 対前回予想

● 主要事業・商品で予想に対して需要増加

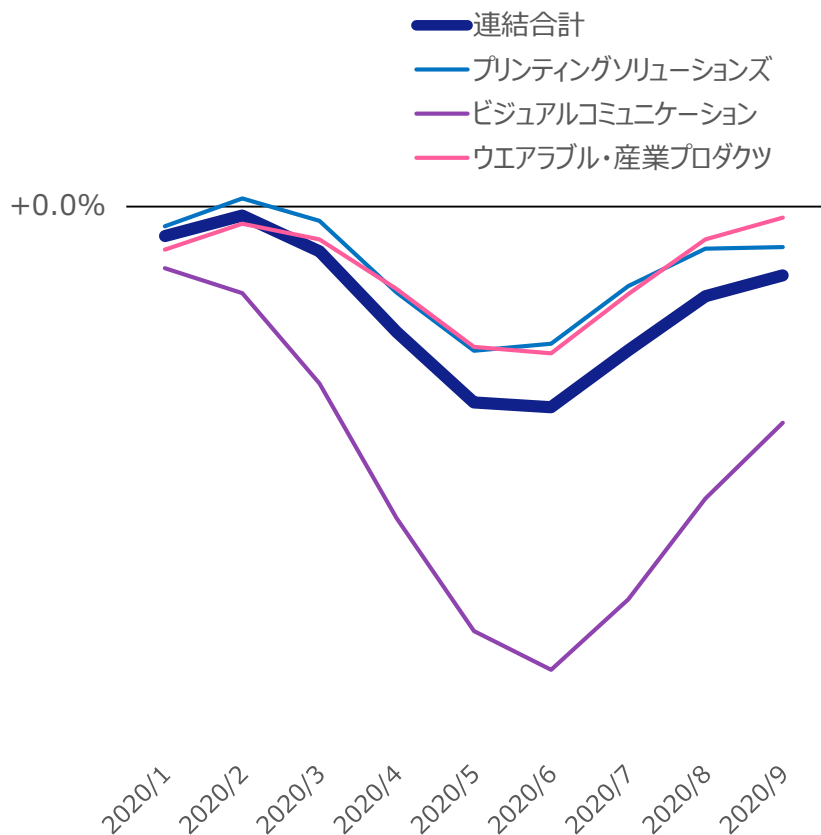
- 大容量インクタンクモデル・インクカートリッジモデル本体、インクカートリッジ、商業・産業IJP、プロジェクター、ロボットなど

● 一層の費用抑制なども実施

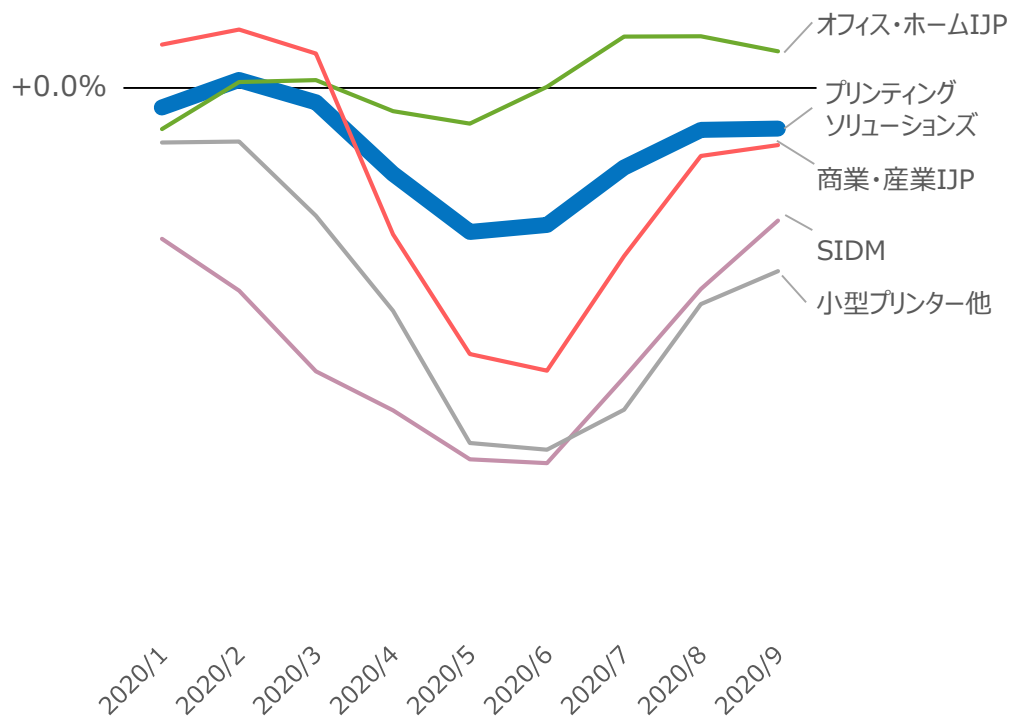
■ COVID-19影響は残るものの、第1四半期からは販売回復

- インクジェットプリンター本体は供給不足影響が残るが、落ち込みが大きかったBtoB商品の需要も急ピッチで回復

売上収益推移（3か月移動平均、前年同期比）
：事業セグメント別



売上収益推移（3か月移動平均、前年同期比）
：プリンティングソリューションズ商品別



■ 生産制約により、供給不足が継続

- 第1四半期の工場停止に続き、9月後半にインドネシアで臨時休業（2週間）
- 稼働回復後も輸送のリードタイムにより一部で供給不足が継続

主要工場の生産品目・稼働状況

工場所在地	主要生産品目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
中国	大判プリンター、プロジェクター、SIDM、ロボット など	通常生産	停止	稼働制約	対応を図りながら概ね計画通り稼働								
フィリピン	大容量インクタンクモデル、SOHO・ホーム向け IJP 本体、プロジェクター、小型プリンターなど	通常生産		停止	稼働制約			通常生産					
インドネシア	大容量インクタンクモデル、SOHO・ホーム向け IJP 本体、オフィス共有IJP 本体、SIDM、大判プリンター、スキャナー など	通常生産		停止	稼働制約			通常生産		停止	稼働制約	通常生産	
マレーシア	水晶デバイス、ウオッチ部品 など	通常生産		停止	稼働制約		通常生産						
日本・中国・インドネシア・米国・英国	インクカートリッジ、インクボトル	通常生産			通常生産								

■ COVID-19影響（需要停滞、供給不足）

- 第2四半期の売上収益に対しては、約270億円のマイナス影響

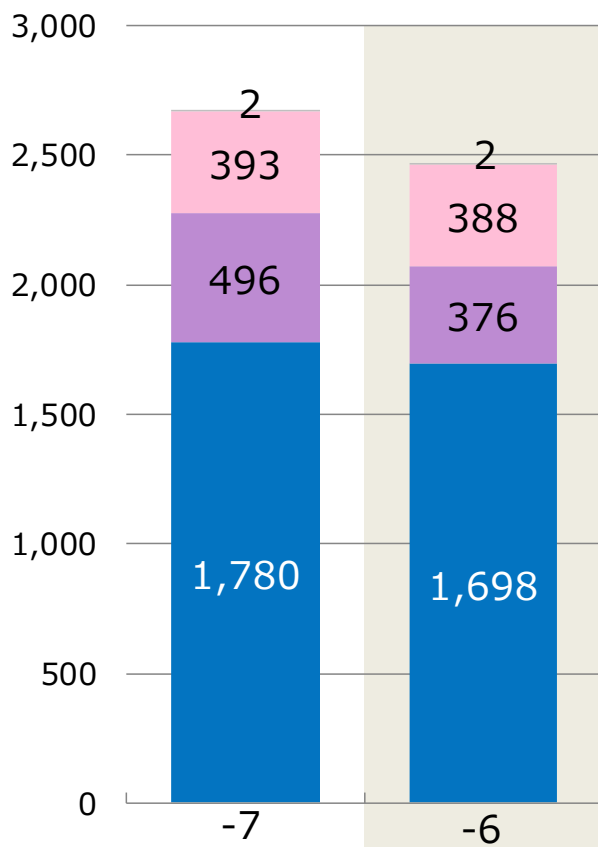
2020年度 第2四半期実績 | 事業セグメント別

四半期売上収益

(億円)

2,664

2,459



FY2019
Q2実績

FY2020
Q2実績

連結合計

対前年同期 -205

その他

ウェアラブル・
産業プロダクト

対前年同期 -4

ビジュアル
コミュニケーション

対前年同期 -120

プリンティング
ソリューションズ

対前年同期 -81

全社費用・調整額

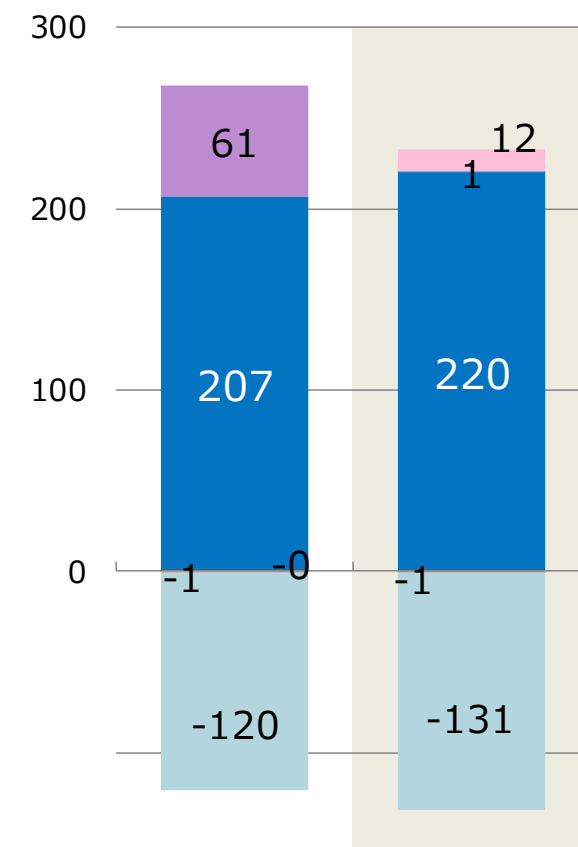
対前年同期 +1

四半期事業利益

(億円)

146

102



FY2019
Q2実績

FY2020
Q2実績

連結合計

対前年同期 -43

ウェアラブル・
産業プロダクト

対前年同期 +13

ビジュアル
コミュニケーション

対前年同期 -59

プリンティング
ソリューションズ

対前年同期 +13

その他

全社費用・調整額

対前年同期 -10

(億円)

プリンティングソリューションズ	2019年度 Q2実績	2020年度 Q2実績
売上収益	1,780	1,698
プリンター	1,199	1,221
構成比 オフィス・ホームIJP	83%	85%
SIDM	8%	6%
その他	9%	9%
プロフェッショナルプリンティング	498	440
構成比 商業・産業IJP	63%	67%
小型プリンター他	37%	33%
その他	83	36
事業間売上収益	-0	-0
セグメント利益	207	220
セグメント利益率	11.6%	13.0%

対 前年同期	為替 影響額
-81	-23
+22	
-57	
-46	
+0	
+13	-12

プリンター事業

- ◆ オフィス・ホームIJP
 - ・大容量インクタンクモデルは、本体販売台数は前年並みも増収、インクボトルも増加
 - ・SOHO・ホーム向けは、I/Cモデル本体が供給不足により減少となるが、欧米でインク販売増加
 - ・オフィス共有IJPは前年同期並み

◆ SIDM

- ・中国中心に販売減少

プロフェッショナルプリンティング事業

◆ 商業・産業IJP

- ・完成品ビジネスは、案件獲得進み前年同期並み
- ・プリントヘッド外販ビジネスは、中国向け新規採用が進むが、既存顧客向け中心に販売減少

◆ 小型プリンター

- ・各地で販売が減少

その他

- ・OS切り替えに伴うPC増加があった
前年同期からは販売減少

◆ オフィス・ホームIJP販売動向 (社内管理値に基づく指標)

		FY19/Q2 実績	FY20/Q2 実績
本体	売上収益 YoY伸長率	円貨	+0%
		現地通貨	+5%
	販売数量 YoY伸長率	+6%	-9%
インク	売上収益 YoY伸長率	円貨	-6%
		現地通貨	-2%
	売上収益 オフィス・ホームIJP内比率*2	10%	10%

*1 オフィス共有IJP：高プリントボリュームオフィス向けプリンター I/Cモデル、RIPS、LIJの本体・インク、スマートチャージなどの課金や有償サービスを含む

*2 FY20の商品区分変更に伴い、FY19を遡及修正

(億円)

ビジュアルコミュニケーション	2019年度 Q2実績	2020年度 Q2実績
売上収益	496	376
セグメント利益	61	1
セグメント利益率	12.3%	0.5%

対 前年同期	為替 影響額
-120	+0
-59	+0

◆ プロジェクター
COVID-19影響により
オフィス向けモデルを中心に販売減少

◆ プロジェクターの販売動向
(社内管理値に基づく指標)

	FY19/Q2 実績	FY20/Q2 実績
円貨	-8%	-24%
現地通貨	-3%	-24%

本体	売上収益		YoY伸長率
	円貨	-8%	
	現地通貨	-3%	
販売数量		YoY伸長率	
		-9%	

(億円)

ウェアラブル・産業プロダクツ	2019年度 Q2実績	2020年度 Q2実績
売上収益	393	388
ウェアラブル機器	117	76
ロボティクスソリューションズ	51	77
マイクロデバイス他	239	237
事業間売上収益	-14	-3
セグメント利益	-0	12
セグメント利益率	-0.0%	3.3%

対 前年同期	為替 影響額
-4	-1
-40	
+25	
-1	
+10	
+13	-0

ウェアラブル機器

◆ 市況停滞により販売減少

ロボティクスソリューションズ

◆ 中国・米州などで販売増加

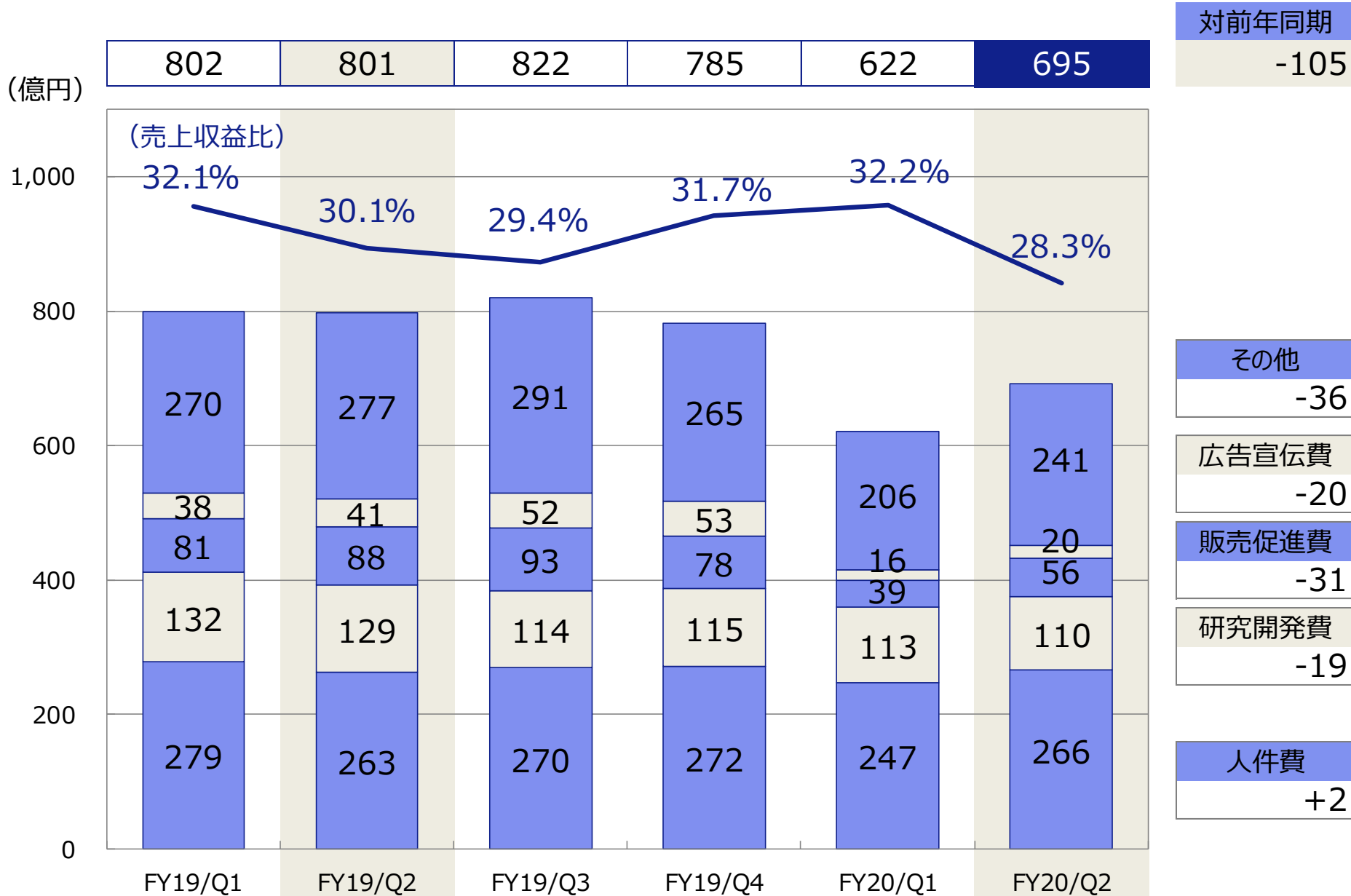
マイクロデバイス他

◆ 水晶デバイス
モバイル機器・車載向けは減少も
通信機器・医療機器増加で増収

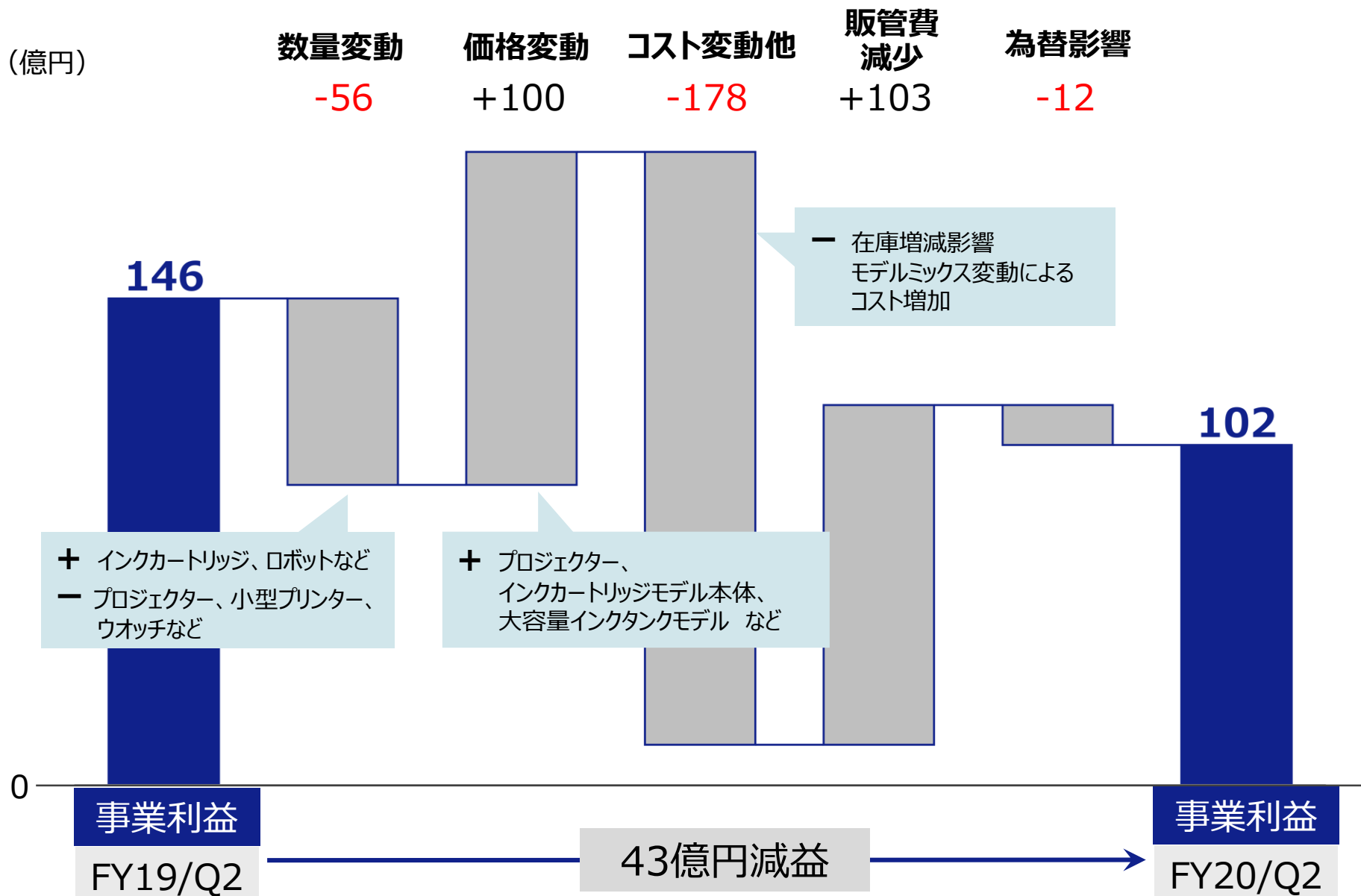
◆ 半導体
ファンドリで販売堅調

◆ その他
金属表面処理が減少

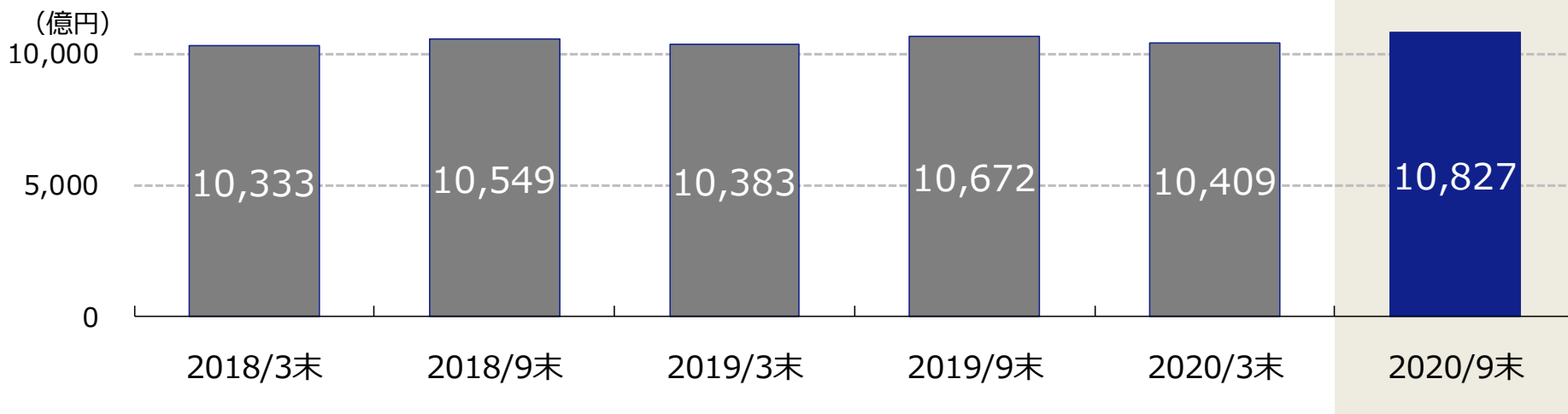
販売費および一般管理費 主要科目別推移



2020年度 第2四半期実績 | 事業利益増減要因分析



資産合計

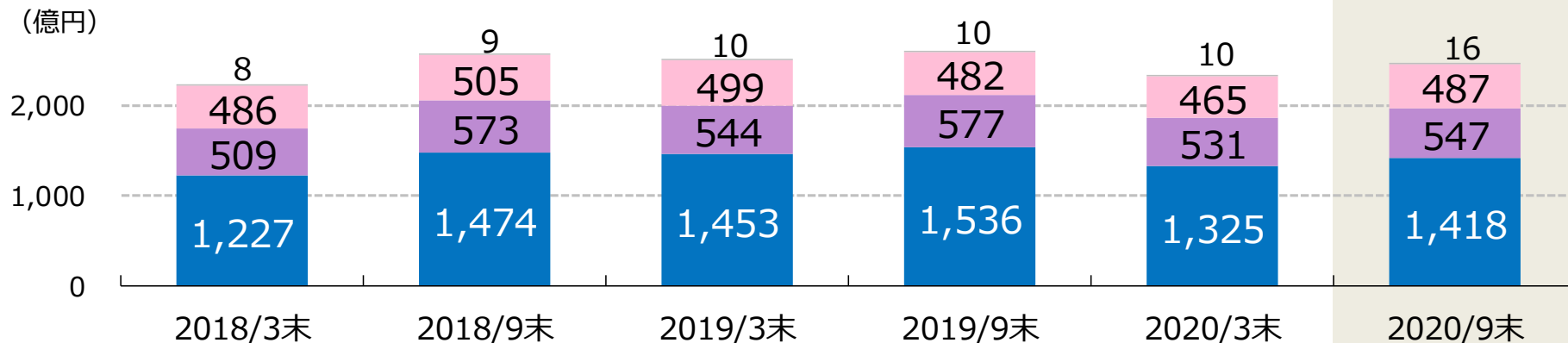


棚卸資産・回転日数

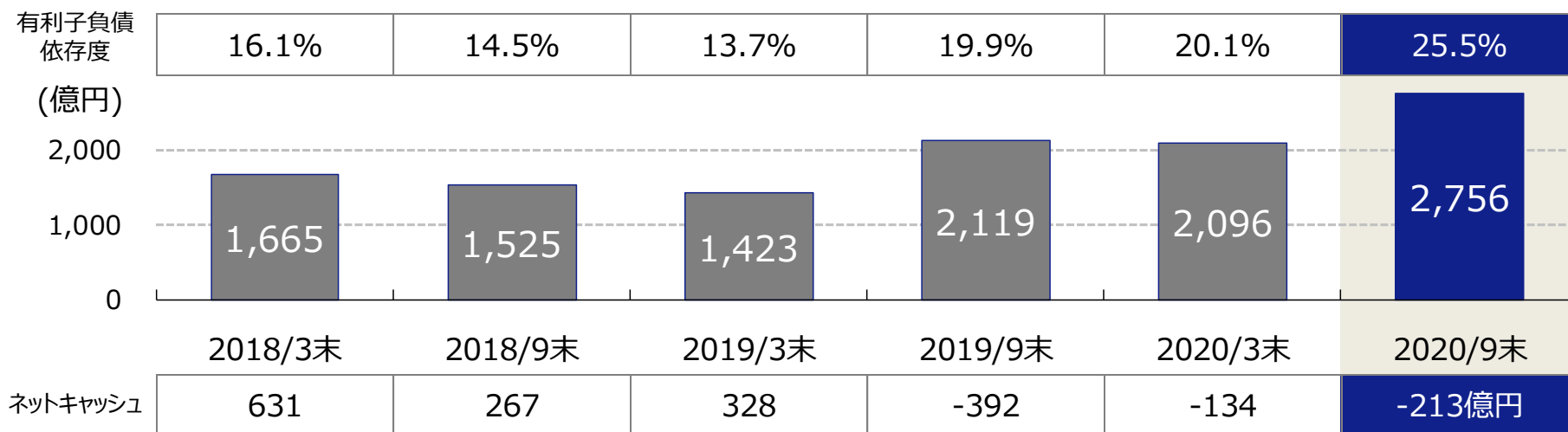
- プリンティングソリューションズ
- ビジュアルコミュニケーション
- ウェアラブル・産業プロダクト
- その他・全社費用

棚卸資産	2,232	2,563	2,507	2,606	2,334	2,471億円
回転日数	74	88	84	92	82	103日

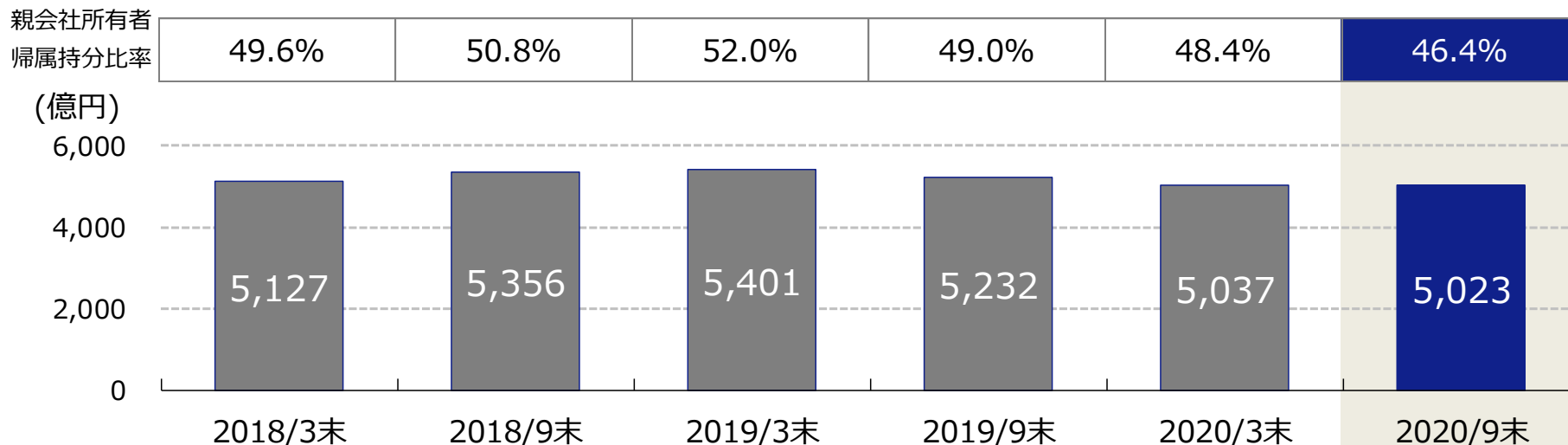
*回転日数 = 第2四半期連結会計期間末(期末) 棚卸資産残高 / 第2四半期連結会計期間末直前6ヶ月間(期末直前12ヶ月間)の1日当たり売上収益



有利子負債・有利子負債依存度、ネットキャッシュ



親会社の所有者に帰属する持分・親会社所有者帰属持分比率



- ご説明のポイント
- 第2期四半期実績
- **2020年度通期業績予想**
- 株主還元
- ESGトピックス

2020年度 通期業績予想 | ハイライト

	2019年度		2020年度				増減額/増減比		
	(億円)	実績	%	7/31予想	%	今回予想	%	対前期	対7/31予想
売上収益		10,436		9,300		9,600		-836 -8.0%	+300 +3.2%
事業利益		408	3.9%	200	2.2%	350	3.6%	-58 -14.3%	+150 +75.0%
営業利益		394	3.8%	160	1.7%	280	2.9%	-114 -29.1%	+120 +75.0%
税引前利益		397	3.8%	140	1.5%	240	2.5%	-157 -39.6%	+100 +71.4%
親会社の所有者に帰属する 当期利益		77	0.7%	10	0.1%	80	0.8%	+2 +3.4%	+70 +700.0%
EPS*1 (円)		22.26		2.89		23.12			
為替レート (円、指数)	USD	¥108.74		¥106.00		¥106.00			
	EUR	¥120.85		¥118.00		¥122.00			
	その他通貨*2	100		90		92			

第3四半期以降の 為替前提(円)	USD	105.00	為替感応度(億円)*3	USD	EUR	その他通貨 合計	年間為替 影響額見込み
	EUR	122.00					
			売上収益	△27	△13	△27	△240
			事業利益	+7	△8	△12	△70

*1 EPS：基本的1株当たり当期利益

*2 その他通貨の各レートを為替ボリュームに応じて加重平均した値について、前期を100とした指数

*3 USD/EURは1円の円高による年間影響額（億円）、その他通貨は1%の円高による年間影響額（億円）

■ 欧米、中国を中心に経済活動の再開が進み、需要は回復

【各国の行動規制の前提】

	9月	10~12月	1~3月
日本	自粛		
北米	自粛		規制解除
西欧・豪州	規制解除		
中国	規制解除		
中南米、東欧、アフリカ、 東南アジア・南アジア	自粛		規制解除

■ 生産の挽回に取り組むものの、供給不足は継続

■ COVID-19による影響は、売上収益で1,300億円程度のマイナス

■ COVID-19への対応

- 在宅需要など、オポチュニティーの確実な取り込み
- 生産挽回に向けた対応
- 販管費など徹底した費用抑制を継続・強化

■ 安定的に利益を創出する体質づくり（継続実施）

- 強化領域へ経営資源を最適配分
 - 強化領域：オフィス共有IJP、商業・産業IJP（完成品ビジネス、プリントヘッド外販ビジネス）、高光束プロジェクター、ロボット
 - 市場縮小に対応する領域：プロジェクター、ウォッチ

■ New Normalを踏まえた戦略・施策の再確認

- 社会課題の変化を捉え、その解決に向けた議論が進展

オフィス・ホームIJP/商業・産業IJP

前提

- 在宅印刷需要は下期に落ち着くが、一定程度継続
- 大容量インクタンクモデルのエマージング地域での需要は、想定よりも早く回復
- 商業・産業IJPは、経済活動再開により需要増加



大容量インクタンクモデル



レジンインク搭載 大判プリンター

取り組み

- 供給制約の中、需要に最大限対応
- 在宅印刷での困りごとを解決する商品・サービスを創出
- 商業・産業IJPの完成品ビジネスは、分散印刷の実現に向け、大判プリンターに加え、色の品質管理、生産管理、保守管理をトータルでサポートするソリューションを強化
- プリントヘッド外販は、中国での直接販売拡大に向けた活動を継続

Epson Cloud Solution

PORT

業務効率化ソリューション



プリントヘッド

ビジュアルコミュニケーション

ウェアラブル機器

前提

- プロジェクター、ウォッチ市場の縮小

取り組み

- 総原価低減、固定費削減、要員構造の適正化



高光束
ビジネスプロジェクター



SWING GENERATOR
搭載ウォッチ



ホームプロジェクター

ロボティクスソリューションズ

マイクロデバイス他

前提

- ロボットやマイクロデバイスの市場は安定的に推移

取り組み

- ロボティクスソリューションズは、経営資源の投下を継続し、省人化・自動化の加速を捉える
- マイクロデバイス他は、堅調な領域での需要を確実に取り込む



スカラロボット



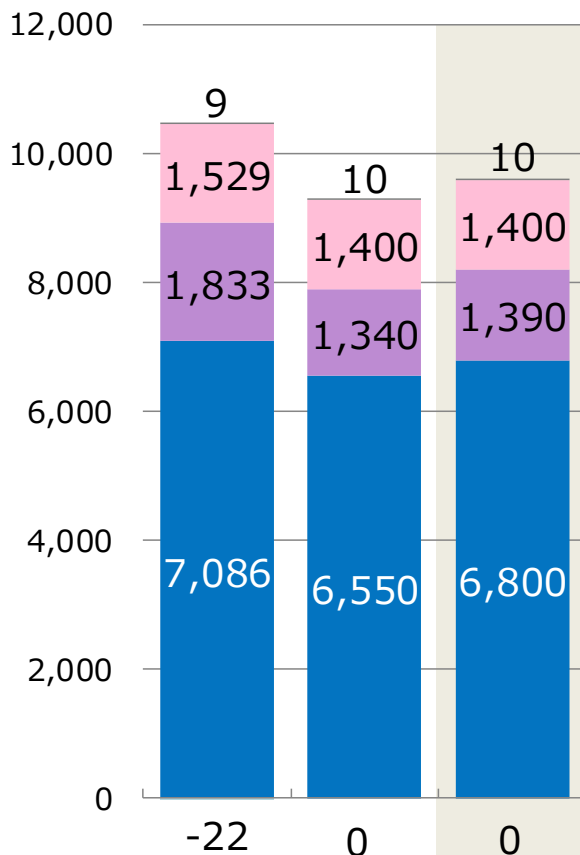
水晶デバイス

2020年度 通期業績予想 | 事業セグメント別

通期売上収益

(億円)

10,436	9,300	9,600
--------	-------	--------------



FY2019 実績	FY2020 7/31 予想	FY2020 今回 予想
-----------	----------------	--------------

連結合計

対前期	-836
対7/31 予想	+300

その他

ウェアラブル・産業プロダクツ

対前期	-129
対7/31 予想	-

ビジュアルコミュニケーション

対前期	-443
対7/31 予想	+50

プリンティングソリューションズ

対前期	-286
対7/31 予想	+250

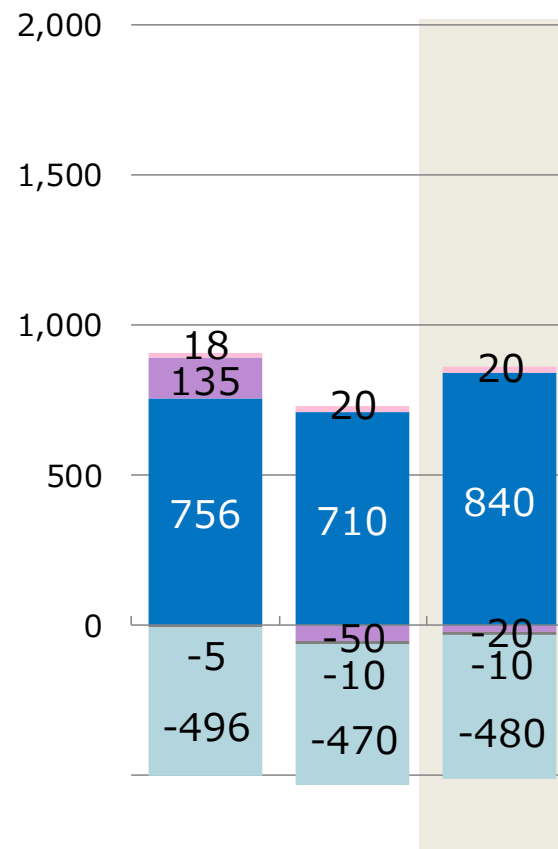
全社費用・調整額

対前期	+22
対7/31 予想	-

通期事業利益

(億円)

408	200	350
-----	-----	------------



FY2019 実績	FY2020 7/31 予想	FY2020 今回 予想
-----------	----------------	--------------

連結合計

対前期	-58
対7/31 予想	+150

ウェアラブル・産業プロダクツ

対前期	+1
対7/31 予想	-

ビジュアルコミュニケーション

対前期	-155
対7/31 予想	+30

プリンティングソリューションズ

対前期	+83
対7/31 予想	+130

その他

全社費用・調整額

対前期	+16
対7/31 予想	-10

(億円)

プリンティングソリューションズ	2019年度 実績	2020年度 7/31予想	2020年度 今回予想	対前期	対 7/31予想
売上収益	7,086	6,550	6,800	-286	+250
プリンター	4,825	4,680	4,850	+24	+170
構成比 オフィス・ホームIJP	84%	86%	87%		
SIDM	7%	5%	5%		
その他	9%	9%	8%		
プロフェッショナルプリンティング	1,979	1,680	1,780	-199	+100
構成比 商業・産業IJP	64%	67%	69%		
小型プリンター他	36%	33%	31%		
その他	282	190	170	-112	-20
事業間売上収益	-1	0	0	+1	-
セグメント利益	756	710	840	+83	+130
セグメント利益率	10.7%	10.8%	12.4%		

◆ オフィス・ホームIJP販売動向
(社内管理値に基づく指標)

		FY19 実績	FY20 7/31予想	FY20 今回予想	
本体	YoY伸長率	+1%	-6%	-4%	
	約、万台	1,570	1,470	1,500	
	販売数量				
	内 大容量インクタンクモデル	1,000	960	1,000	
	内 SOHO・ホーム向けI/Cモデル	530	480	470	
	内 オフィス共有IJP	40	30	30	
インク	売上収益	円貨	-8%	-0%	+2%
		現地通貨	-5%	-	-
オフィス共有IJP	売上収益	オフィス・ホームIJP内比率*2	10%	11%	10%

プリンター事業

- ◆ オフィス・ホームIJP
 - ・SOHO・ホーム向けは、本体は減収となるが、先進国中心にインク販売が増加し、前年度並み
 - ・大容量インクタンクモデルは、前年同期並み台数販売を見込むが、ミックス改善により増収
 - ・オフィス共有IJPは、厳しい市場環境の中、着実に販売拡大

◆ SIDM

- ・中国中心に販売減少

プロフェッショナルプリンティング

◆ 商業・産業IJP

- ・完成品ビジネスは、下期に前年度並み販売を見込む
- ・ヘッド外販ビジネスは、新規顧客の増加の一方で、既存顧客向けで減少し、前年度並み

◆ 小型プリンター

- ・先進国中心に需要減少

その他

- ◆ PC販売特需が収束

*1 オフィス共有IJP：高プリントボリュームオフィス向けプリンターI/Cモデル、RIPS、LIJの本体・インク、スマートチャージなどの課金や有償サービスを含む

*2 FY20の商品区分変更に伴い、FY19を遡及修正

(億円)

ビジュアルコミュニケーション	2019年度 実績	2020年度 7/31予想	2020年度 今回予想	対前期	対 7/31予想
売上収益	1,833	1,340	1,390	-443	+50
セグメント利益	135	-50	-20	-155	+30
セグメント利益率	7.4%	-3.7%	-1.4%		

ビジュアルコミュニケーション

- ◆ プロジェクター
 - COVID-19影響に加え、FPD影響により市場縮小 (YoY▲35%程度)
 - 市場でのプレゼンス向上を進める

◆ プロジェクターの販売動向 (社内管理値に基づく指標)

		FY19 実績	FY20 7/31予想	FY20 今回予想
本体	販売数量			
	YoY伸長率 約、万台	-9%	-31%	-30%
		240	160	160

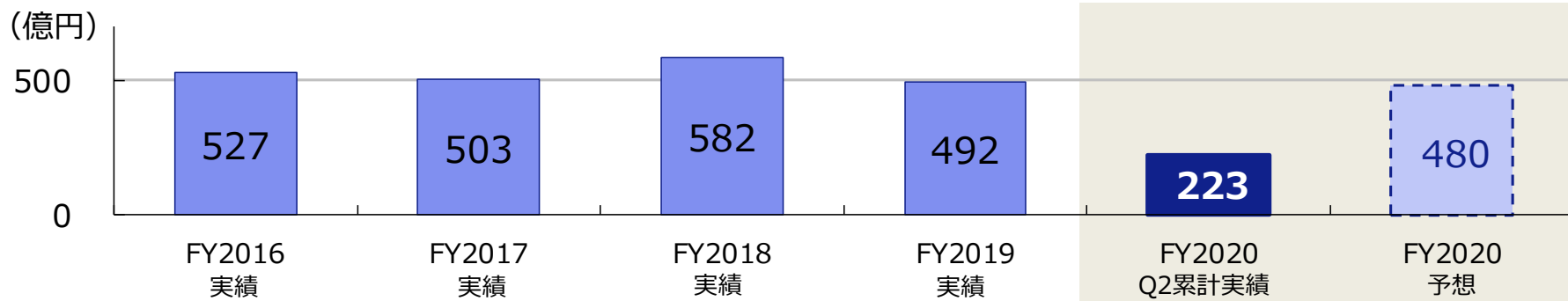
(億円)

ウェアラブル・産業プロダクツ	2019年度 実績	2020年度 7/31予想	2020年度 今回予想	対前期	対 7/31予想
売上収益	1,529	1,400	1,400	-129	-
ウェアラブル機器	440	310	290	-150	-20
ロボティクスソリューションズ	212	220	240	+27	+20
マイクロデバイス他	929	900	890	-39	-10
事業間売上収益	-53	-30	-20	+33	+10
セグメント利益	18	20	20	+1	-
セグメント利益率	1.2%	1.4%	1.4%		

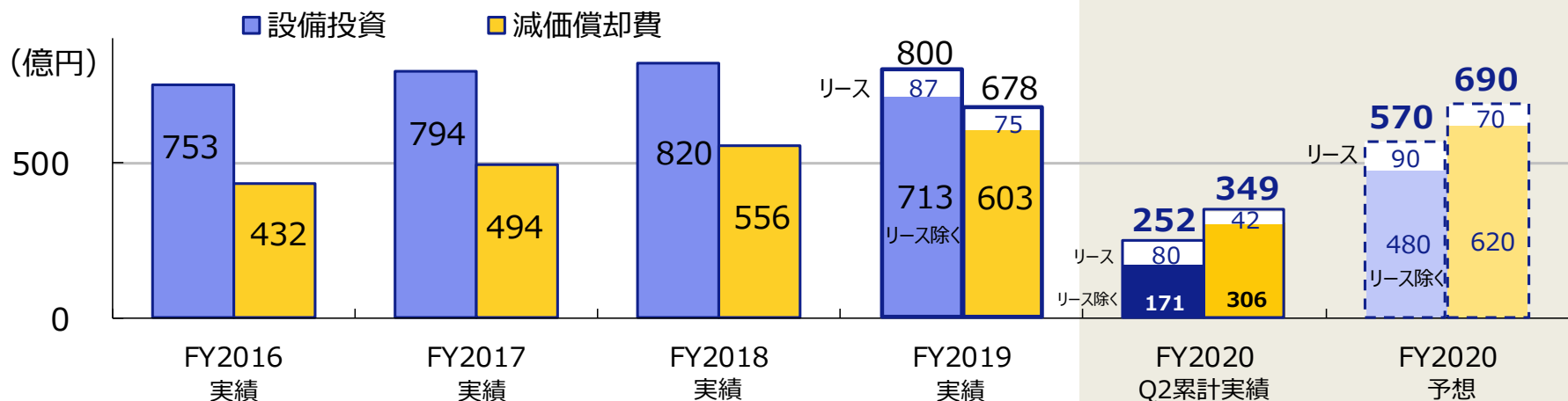
◆ ウェアラブル機器

- ウォッチで厳しい事業環境が継続
- ## ◆ ロボティクスソリューションズ
- 中国中心に堅調な需要が続く
- ## ◆ マイクロデバイス他
- 堅調な需要が続く

研究開発費



設備投資・減価償却費



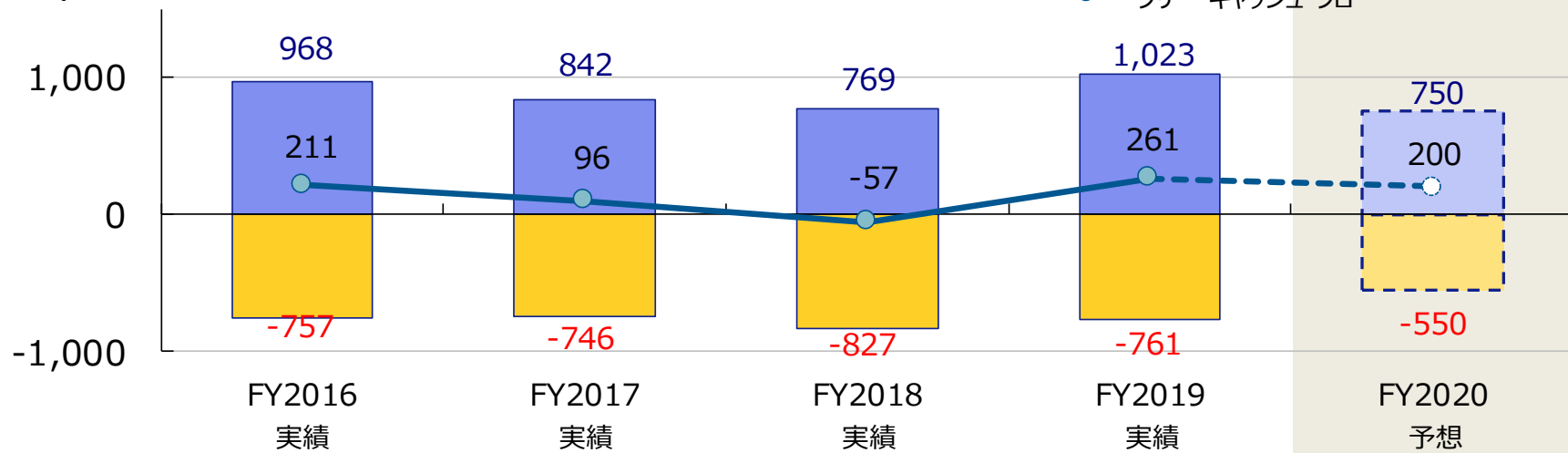
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
プリンティングソリューションズ	137	191	280	380
ビジュアルコミュニケーション	47	63	100	130
ウェアラブル・産業プロダクツ	43	52	120	110
その他・全社費用	24	42	70	70

FY2019実績からリースを含む

フリー・キャッシュ・フロー

(億円)

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー
■ 投資活動によるキャッシュ・フロー
● フリー・キャッシュ・フロー



主な経営指標

(%)

	FY2016 実績	FY2017 実績	FY2018 実績	FY2019 実績	FY2020 予想
ROS *1	6.4	6.8	6.5	3.9	3.6
ROA *2	6.9	7.4	6.8	3.9	3.3
ROE *3	10.1	8.3	10.2	1.5	1.6

*1 ROS: 売上収益事業利益率 = 事業利益 / 売上収益

*2 ROA: 資産合計事業利益率 = 事業利益 / 期首・期末資産合計平均

*3 ROE: 親会社所有者帰属持分当期利益率 = 親会社の所有者に帰属する当期利益 / 期首・期末親会社の所有者に帰属する持分平均

- ご説明のポイント
- 第2期四半期実績
- 2020年度通期業績予想
- 株主還元
- ESGトピックス

■ 配当の基本方針

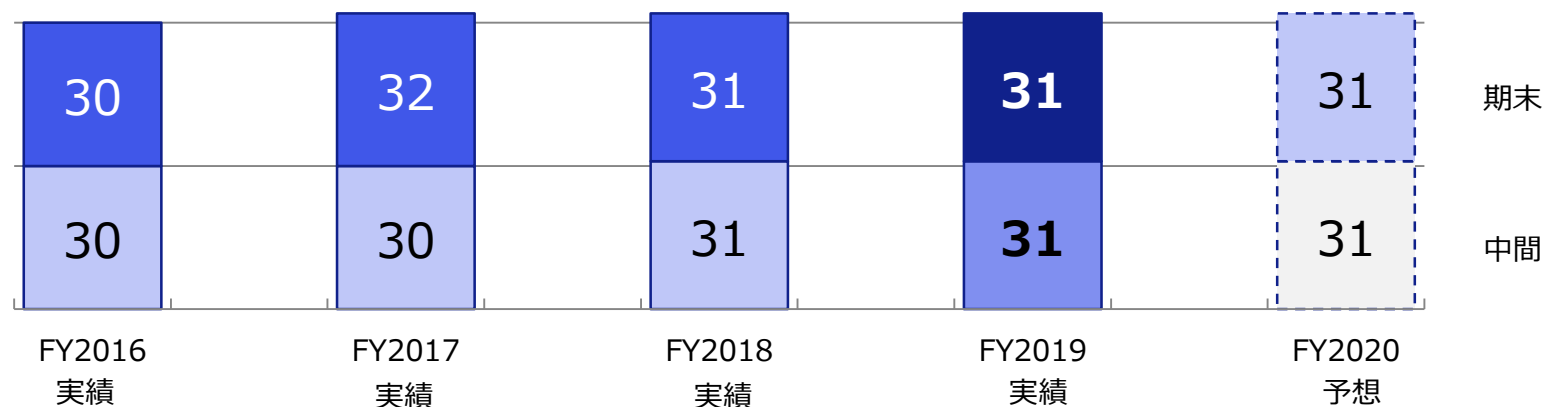
- 強固な財務構造の構築と、積極的な利益還元に並行して取り組む
- 中期的には連結配当性向40%程度を目標

■ 2020年度配当予想

- 2019年度と同額の1株当たり62円

■ 配当実績・予想

1株当たり配当金額の推移（円）



- ご説明のポイント
- 第2期四半期実績
- 2020年度通期業績予想
- 株主還元
- ESGトピックス

■ 統合レポート発行

- 「価値創造ストーリー」に基づく経営・事業戦略、具体的な活動内容を紹介



■ TCFDへの対応

- 気候関連リスク・機会がエプソンの戦略に与える財務影響度を評価
- 脱炭素社会への移行は、事業拡大の機会
 - マテリアリティである「産業構造の革新」「循環型経済の牽引」に合致



■ EcoVadis社のサステナビリティ評価で最高位の「プラチナ」*を獲得

- 業種別評価対象企業の上位1%に入る高い評価
- グローバルな「企業の社会的責任（CSR）」の取り組みが認められた



*「プラチナ」の格付けは2020年に新設されたランク

EPSON
EXCEED YOUR VISION

補足資料

2020年度 第2四半期累計実績 | ハイライト

	2019年度		2020年度		対前年同期		
	(億円)	Q2累計実績	%	Q2累計実績	%	増減額	増減率
売上収益		5,161		4,391		-769	-14.9%
事業利益		191	3.7%	146	3.3%	-44	-23.4%
営業利益		193	3.7%	92	2.1%	-100	-52.0%
税引前利益		191	3.7%	69	1.6%	-121	-63.5%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益		122	2.4%	42	1.0%	-80	-65.5%
EPS ^{*1} (円)		35.14		12.23			
為替レート (円、指数)	USD	¥108.62		¥106.85			
	EUR	¥121.44		¥121.24			
	その他通貨 ^{*2}	100		91			

*1 EPS: 基本的1株当たり当期利益

*2 その他通貨の各レートを為替ボリュームに応じて加重平均した値について、前年同期を100とした指数

	前年同期に対する 為替影響額 (億円)			合計
	USD	EUR	その他 通貨合計	
売上収益	-23	+0	-76	-99
事業利益	+3	+0	-43	-39

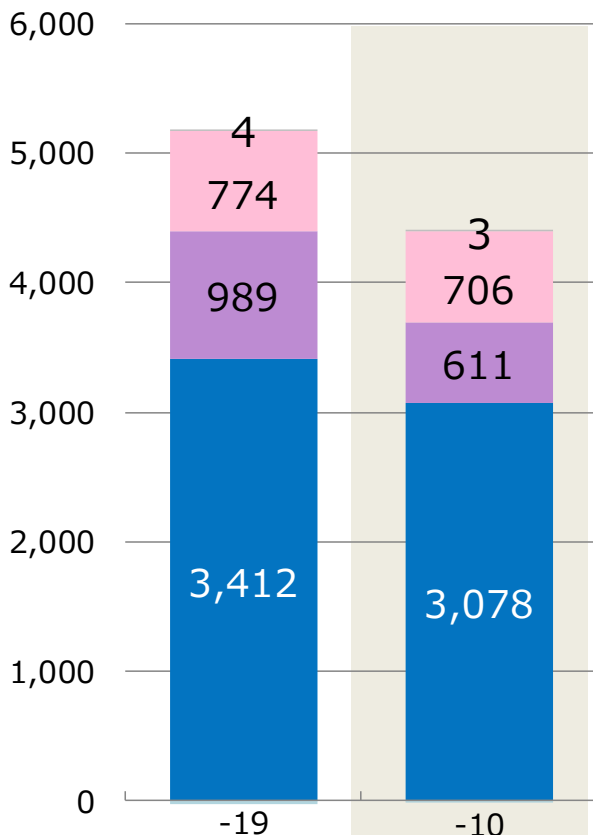
2020年度 第2四半期累計 | 事業セグメント別

Q2累計売上収益

(億円)

5,161

4,391



FY2019
Q2累計実績

FY2020
Q2累計実績

連結合計

対前年同期 -769

その他

ウェアラブル・
産業プロダクト

対前年同期 -67

ビジュアル
コミュニケーション

対前年同期 -377

プリンティング
ソリューションズ

対前年同期 -333

全社費用・調整額

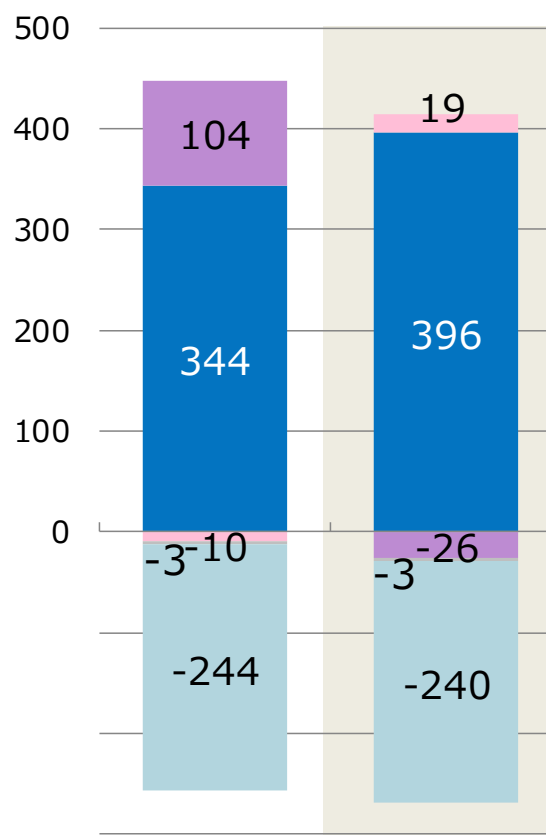
対前年同期 +9

Q2累計事業利益

(億円)

191

146



FY2019
Q2累計実績

FY2020
Q2累計実績

連結合計

対前年同期 -44

ウェアラブル・
産業プロダクト

対前年同期 +29

ビジュアル
コミュニケーション

対前年同期 -130

プリンティング
ソリューションズ

対前年同期 +52

その他

全社費用・調整額

対前年同期 +3

(億円)

プリンティングソリューションズ	2019年度 Q2累計	2020年度 Q2累計	対 前年同期	為替 影響額
売上収益	3,412	3,078	-333	-82
プリンター	2,280	2,245	-35	
構成比 オフィス・ホームIJP	83%	86%		
SIDM	8%	6%		
その他	9%	8%		
プロフェッショナルプリンティング	990	759	-230	
構成比 商業・産業IJP	63%	67%		
小型プリンター他	37%	33%		
その他	141	74	-67	
事業間売上収益	-0	-0	+0	
セグメント利益	344	396	+52	-37
セグメント利益率	10.1%	12.9%		

(億円)

ビジュアルコミュニケーション	2019年度 Q2累計	2020年度 Q2累計	対 前年同期	為替 影響額
売上収益	989	611	-377	-9
セグメント利益	104	-26	-130	-1
セグメント利益率	10.6%	-4.3%		

(億円)

ウェアラブル・産業プロダクツ	2019年度 Q2累計	2020年度 Q2累計	対 前年同期	為替 影響額
売上収益	774	706	-67	-7
ウェアラブル機器	229	130	-99	
ロボティクスソリューションズ	101	143	+42	
マイクロデバイス他	473	442	-30	
事業間売上収益	-29	-9	+19	
セグメント利益	-10	19	+29	-1
セグメント利益率	-1.3%	2.8%		

主要製品の販売動向

本資料は、エプソン内部の管理値に基づく指標です。伸長率はYoY

*1 オフィス共有IJP：高プリントボリュームオフィス向けプリンター
I/Cモデル,RIPS,LIJの本体・インク、スマートチャージなどの課金や有償サービスを含む

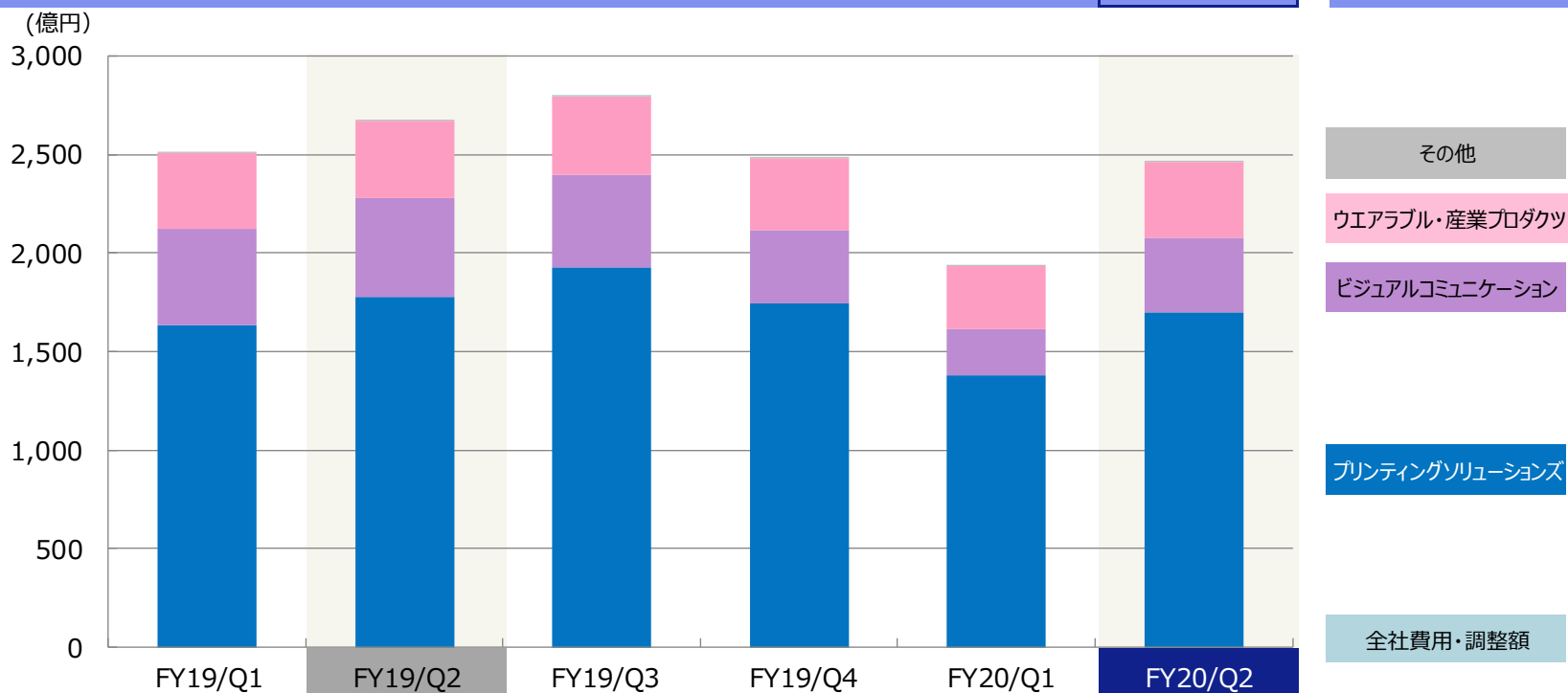
*2 FY20の商品区分変更に伴い、FY19を遡及修正

				FY2019 通期 実績	FY2020 Q1 実績	FY2020 Q2 実績	FY2020 通期 予想	
				USD	108.74	107.54	106.16	106.00
				EUR	120.85	118.39	124.10	122.00
プリンティング ソリューションズ	オフィス・ホーム IJP 本体	売上収益（円貨）	伸長率	-0%	-14%	+2%	+5%	
		売上収益（現地通貨）	伸長率	+4%	-8%	+5%	-	
		本体数量	伸長率	+1%	-17%	-9%	-4%	
		本体数量	台数	約1,570万台	-	-	約1,500万台	
		内 大容量インクタンクモデル	台数	約1,000万台	-	-	約1,000万台	
		内 SOHO・ホーム向け I/Cモデル	台数	約530万台	-	-	約470万台	
		内 オフィス共有IJP	台数	約40万台	-	-	約30万台	
	オフィス・ホーム IJP インク	インク売上収益比率 インク÷(本体+インク)	構成比	48%	-	-	47%	
		売上収益（円貨）	伸長率	-8%	+15%	+7%	+2%	
		売上収益（現地通貨）	伸長率	-5%	+19%	+8%	-	
	オフィス共有 IJP*1 本体+インク	オフィス・ホームIJP内 売上収益比率*2	構成比	10%	9%	10%	10%	
	SIDM 本体	売上収益（円貨）	伸長率	-19%	-43%	-16%	-18%	
		売上収益（現地通貨）	伸長率	-16%	-40%	-15%	-	
本体数量		伸長率	-16%	-39%	-16%	-17%		
ビジュアル コミュニケーション	プロジェクター 本体	売上収益（円貨）	伸長率	-9%	-52%	-24%	-24%	
		売上収益（現地通貨）	伸長率	-6%	-50%	-24%	-	
		本体数量	伸長率	-9%	-57%	-32%	-30%	
		本体数量	台数	約240万台	-	-	約160万台	

四半期 売上収益推移 | 事業セグメント別

為替レート (円)	USD	109.93	107.31	108.72	109.00	107.54	106.16	-1.15
	EUR	123.54	119.34	120.35	120.18	118.39	124.10	+4.76

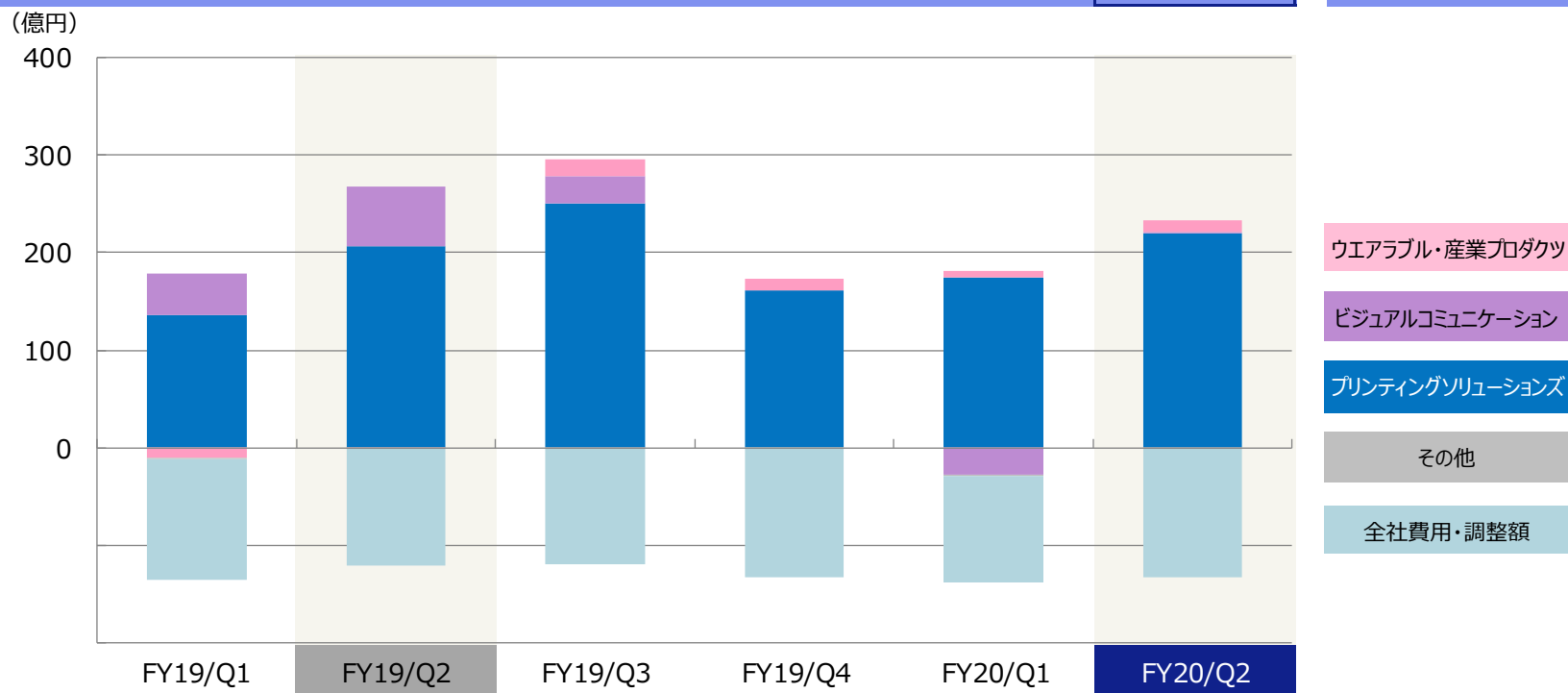
売上収益 (億円)	FY19/Q1	FY19/Q2	FY19/Q3	FY19/Q4	FY20/Q1	FY20/Q2	対前年同期
プリンティングソリューションズ	1,632	1,780	1,929	1,744	1,380	1,698	-81
ビジュアルコミュニケーション	492	496	468	375	235	376	-120
ウェアラブル・産業プロダクツ	381	393	394	360	318	388	-4
その他	2	2	2	2	1	2	-0
全社費用・調整額	-11	-7	3	-6	-3	-6	+1
連結合計	2,496	2,664	2,798	2,476	1,932	2,459	-205



四半期 事業利益推移 | 事業セグメント別

為替レート (円)	USD	109.93	107.31	108.72	109.00	107.54	106.16	-1.15
	EUR	123.54	119.34	120.35	120.18	118.39	124.10	+4.76

事業利益 (億円)	FY19/Q1	FY19/Q2	FY19/Q3	FY19/Q4	FY20/Q1	FY20/Q2	対前年同期
プリンティングソリューションズ	136	207	250	162	175	220	+13
ビジュアルコミュニケーション	43	61	29	0	-27	1	-59
ウェアラブル・産業プロダクツ	-10	-0	17	11	6	12	+13
その他	-2	-1	-1	-0	-2	-1	+0
全社費用・調整額	-123	-120	-118	-133	-109	-131	-10
連結合計	45	146	176	40	43	102	-43



海外売上収益・従業員数

海外売上収益

為替レート (円)	USD	109.93	107.31	108.72	109.00	107.54	106.16	-1.15
	EUR	123.54	119.34	120.35	120.18	118.39	124.10	+4.76

売上収益 (億円)	FY19/Q1	FY19/Q2	FY19/Q3	FY19/Q4	FY20/Q1	FY20/Q2	対前年同期
米州	745	717	712	753	598	719	+2
欧州	479	537	593	529	397	500	-36
アジア・オセアニア	725	758	744	585	495	739	-19
海外売上収益計	1,951	2,014	2,051	1,869	1,490	1,959	-54
連結合計	2,496	2,664	2,798	2,476	1,932	2,459	-205

構成比	FY19/Q1	FY19/Q2	FY19/Q3	FY19/Q4	FY20/Q1	FY20/Q2
米州	29.9%	26.9%	25.5%	30.4%	31.0%	29.3%
欧州	19.2%	20.2%	21.2%	21.4%	20.6%	20.4%
アジア・オセアニア	29.1%	28.5%	26.6%	23.7%	25.6%	30.1%
海外売上収益計	78.2%	75.6%	73.3%	75.5%	77.2%	79.7%

従業員数

期末従業員数 (人)	2018/3末	2018/9末	2019/3末	2019/9末	2020/3末	2020/9末	対前期末
国内	19,436	19,694	19,456	19,825	19,558	19,723	+165
海外	56,955	61,699	57,191	58,914	56,050	59,287	+3,237
連結合計	76,391	81,393	76,647	78,739	75,608	79,010	+3,402

主な業績指標

		(億円)			
	項目	FY2018 実績	FY2019 実績	FY2020 予想	FY2021 第2期 中計目標
為替レート	USD	110.86	108.74	106.00	110.00
(円)	EUR	128.40	120.85	122.00	125.00
プリンティング	売上収益	7,236	7,086	6,800	7,800
ソリューションズ	セグメント利益	945	756	840	-
ビジュアル	売上収益	2,033	1,833	1,390	2,250
コミュニケーション	セグメント利益	212	135	-20	-
ウェアラブル・	売上収益	1,634	1,529	1,400	1,950
産業プロダクト	セグメント利益	55	18	20	-
その他	売上収益	9	9	10	-
	セグメント利益	-5	-5	-10	-
全社・調整額	売上収益	-16	-22	0	-
	セグメント利益	-502	-496	-480	-
連結合計	売上収益	10,896	10,436	9,600	12,000
	事業利益	704	408	350	960
	ROS	6.5%	3.9%	3.6%	8%
	ROE	10.2%	1.5%	1.6%	継続的に 10%以上

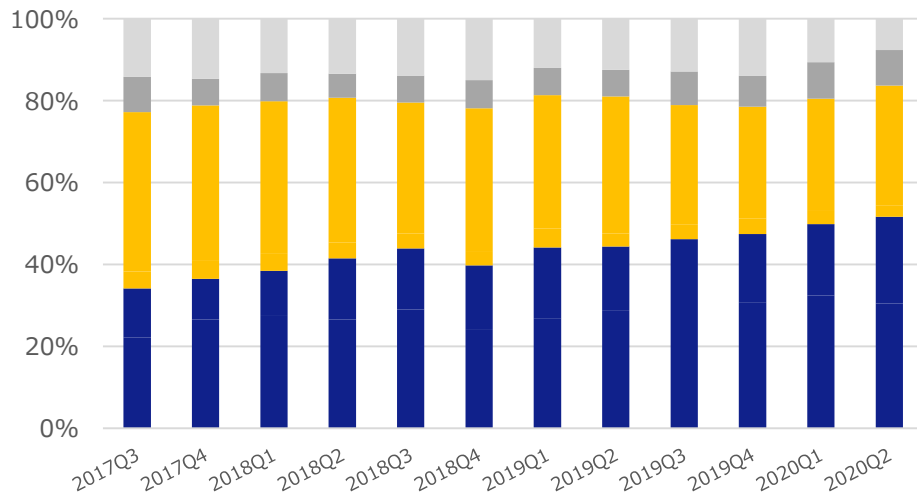
		(億円)			
	項目	FY2018 実績	FY2019 実績	FY2020 予想	Epson 25 第2期3年累計 目標
	USD	110.86	108.74	106.00	110.00
	EUR	128.40	120.85	122.00	125.00
	営業CF	769	1,023	750	3,700程度
	FCF	-57	261	200	1,700程度
	研究開発費	582	492	480	積極的に投下
	設備投資	820	713	480	2,000程度
			800*	570*	

*オペレーティングリース含む

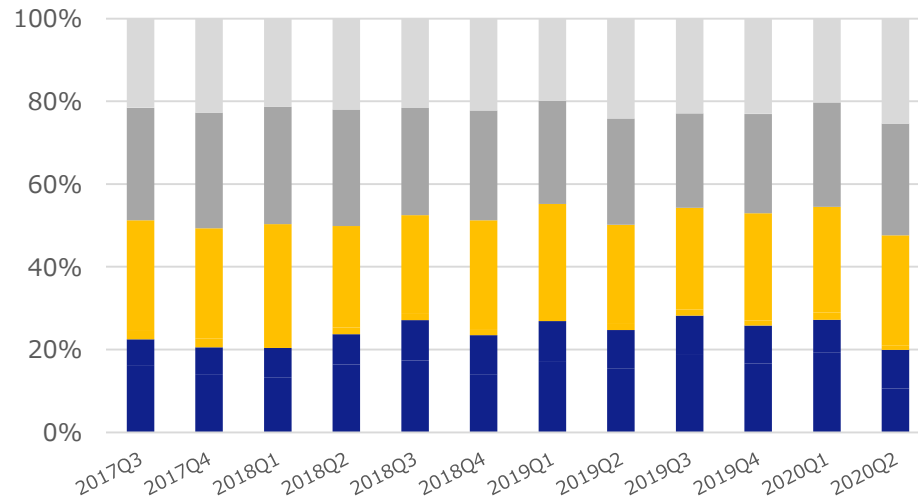
大容量インクタンクモデルの浸透（数量構成比）

A4サイズプリンタータイプ別市場推移（暦年）

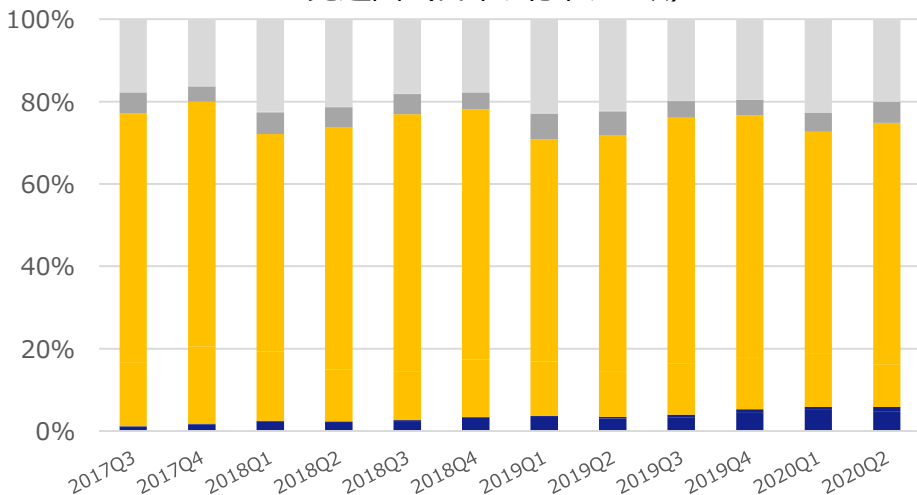
中南米



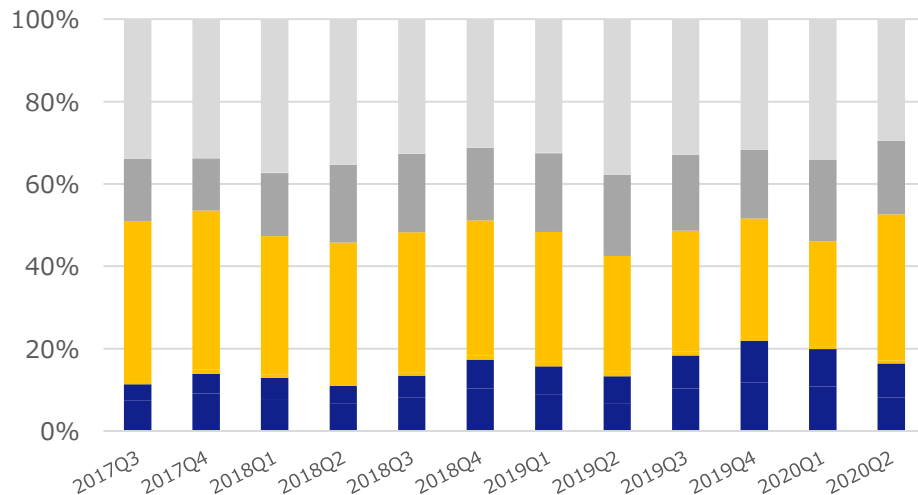
アジア・パシフィック



先進国（日本、北米、西欧）



東欧・中東・アフリカ



■ インクタンクプリンター ■ インクカートリッジプリンター
■ レーザープリンター(1-20ppm) ■ レーザープリンター(21ppm以上)

Source: IDC Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker 2020Q2
プリンターには複合機を含む。本資料からの転載を禁止します

Color Control Technology	商業・産業印刷における色再現性を高めるカラーマネジメント技術
Epson Connect	エプソンの商品・サービスを対象としたモバイル・クラウドサービス
I/C	Ink Cartridge, インクカートリッジ
IJP	Inkjet Printer, インクジェットプリンター
LIJ	Line Inkjet Printer, 高速ラインインクジェット複合機
LP	Laser Printer, レーザープリンター（複合機含む）
RIPS	Replaceable Ink Pack System, 大容量インクパックモデル
SIDM	Serial Impact Dot Matrix Printers
SOHO	Small Office Home Office, 小規模オフィス・ホームオフィス
オフィス共有IJP	商品カテゴリの1つ。高プリントボリュームオフィス向けプリンター。I/Cモデル,RIPS,LIJを含む
フォト	フォト、グラフィックス、プルーフ、CAD印刷向け大判プリンターなどが含まれる
商業・産業IJP	商品カテゴリの1つ。商業・産業用途向け大判インクジェットプリンター、プリントヘッド外販ビジネスを含む
大容量インクタンクモデル	エコタンク搭載インクジェットプリンター
大容量インクモデル	大容量インクカートリッジモデル、大容量インクタンクモデル、大容量インクパックモデル（RIPS）、高速ラインインクジェット（LIJ）の総称
分散印刷	同一内容の印刷物を複数のプリンターを用いて印刷する方法
3LCD	プロジェクター方式の1つ。液晶パネル3枚を使う方式
FPD	Flat Panel Display, フラットパネルディスプレイ
OLED	Organic Light Emitting Diode（有機EL）
高光束プロジェクター	交換レンズ機能付き高輝度プロジェクター
WP	ウェアラブル機器事業
MD他	マイクロデバイス他事業

イノベーション

インクジェットイノベーション

ビジュアルイノベーション

ウェアラブルイノベーション

ロボティクスイノベーション

セグメント

プリンティングソリューションズ

ビジュアルコミュニケーション

ウェアラブル・産業プロダクト

オフィス・ホームIJP

プリンター

大容量インクタンクモデル



オフィス共有



SOHO・ホーム



インカートリッジモデル

高速
ラインインクジェット
複合機 (LII)

オフィス向け
インカートリッジモデル



SIDM



PaperLab



スキャナー



レーザープリンター

プロフェッショナルプリンティング

商業・産業IJP



フォト

サインージ

テキスタイル

ラベル

ヘッド外販

小型
プリンター他

PC他



エプソンダイレクトPC

プロジェクター



高光束



超短焦点



スタンダード



ホーム



小型

ライティング



スマートグラス

ウェアラブル機器

エプソンブランド



TRUME



オリेंट

ムーブメント



セイコービジネス



ロボティクスソリューションズ

ロボット



スカラ



6軸

ICハンドラー



オプション



マイクロデバイス他

マイクロデバイス



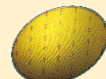
水晶



半導体



微細合金粉末



表面処理加工

事業
・
主要製品

EPSON
EXCEED YOUR VISION